

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 712 号	氏名	陳 玲瀚
学位審査委員	主 査	小路 武彦	
	副 査	吉浦 孝一郎	
	副 査	塚元 和弘	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、子宮頸がんの早期発見を目的として、ヒトパピローマウイルス(HPV)遺伝子型同定が可能で安価且つ高精度な簡易検出系を開発するもので、研究目的として妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 本研究では、沖縄県並びに長崎県の子宮頸部擦過標本を採取し、正常女性検体(それぞれ 1269 検体と 1111 検体)を対象として DNA を抽出し、HPV L1 タンパク質をコードする領域を PCR で増幅した。そのウイルス陽性例について、ダイレクトシーケンスにより HPV 遺伝子型を同定すると共に、<i>Hpy</i>CH4V 及び <i>Not</i>III を用いた restriction fragment length polymorphism (RFLP)法を行い、遺伝子型特有の切断パターンから簡便な遺伝子型同定法の有効性を検討している点、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 以上の検討の結果、特に発がんとの関連が指摘される典型的な 30 種類の HPV 遺伝子型について簡便に同定可能な RFLP 切断パターンの標準パネルを完成させ、更にこれらの検討により日本では欧米と異なり HPV18 型の感染頻度は低く、むしろ 52 型と 58 型の感染の重要性を示した点、これらの研究結果は高く評価できる。</p> <p>以上のように、本論文は子宮頸部に感染した HPV 遺伝子型の簡便な同定に貢献するところ大であり、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			